

日本共産党議員の代表・一般質問

2月27日に開会した根室市議会2月定例会は、3月7日に代表質問、8日に代表質問と一般質問が行われます。先週の市議団ニュースで橋本議員の代表質問項目、鈴木議員の一般質問項目をご案内しましたが、今週は、それぞれの主な質問内容をお知らせします。

共にしあわせ産みだす日本共産党

市議団ニュース

第2095号

2024年3月10日

日本共産党根室市議団

根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684

橋本竜一議員の代表質問の主な内容



1. 地域社会におけるジェンダー平等の実現に向けて
性的マイノリティーのパートナー関係を自治体が認証するパートナーシップ制度について、2月時点で393自治体と急速に広がっています。北海道は「各市町村で取り組んでほしい」と導入に後ろ向きですが、個人の尊厳に関わる問題であり、市町村ごとに対応が異なる状況は解消されるべきです。

あためて当市における検討状況がどのように進んでいるのか、さらに新たな総合計画に位置づけることについて、市長の見解を伺います。

2. 市内の人材確保対策について
根室市産業振興ビジョン等にもとづき一次産業等の担い手育成、後継者対策や労働者確保対策の各種事業が進められています。一方で、高校生も含め地元で就職・就労する方をしっかりと応援する施策も重要です。しかし、現行の「正規雇用奨励補助金支給制度」では新卒が対象にならないことや、本制度の趣旨から酪農や漁業、自営業など親の跡を継ぐ場合も対象外です。新たなビジョン策定に当たり、既存制度を見直す必要があり、

見解を伺います。

3. 市民との協働について
根室市立学校適正配置計画案にあるように、今後市街地の学校に義務教育学校を展開させていく上で、広く地域住民の方々の理解を得ていく必要があると考えます。これまでの取り組みと実績について、市民とどのように共有している、あるいはこれから行おうとしているのか伺います。また、北斗小学校の移転平地かについては、子どもたちや地域の方々と一緒に学校を作っていくという手順を大切にしていくなきと考えますが見解を伺います。

市立根室病院経営強化プランの実践に向けては、いまの病院の体制や経営状況、地域医療の課題等を定期的に市民と意見交換をする機会を設けることが重要と考えますが見解を伺います。

の重要性を説かれていた。市行政の全ての部署がそうした観点で地域と関わり業務に当たることが重要です。社会教育の理論と実践の技術を体系的に学び、それを業務の中で発展的に生かせる職員を増やしていくことが重要と考えますが、見解を伺います。

4. 領土問題について
地域財源の確保対策の状況について、国・北海道における検討状況がどうなっているか伺います。また、領土問題に関する啓発施設の整備・充実についても伺います。

5. 福祉、子育て支援について
貧困等のさまざまな困難を抱える子どもたちの現状把握と、それに基づく対策が必要と考えますが、見解をうかがいます。また、子どもに関する計画等を策定する際には子どもたちなど当事者の参画や意見の反映が重要ですが見解を伺います。

鈴木一彦議員の一般質問の主な内容



1. 「防災・減災対策の更なる強化」について
能登半島地震を教訓に、当市の防災減災対策を改めて確認する必要があります。避難所で被災者の人権、プライバシーが守られ、誰もが安心して避難生活を送られる取り組みについて見解を伺います。また、ペット同伴の避難訓練の必要性についても伺います。

2. 「非核平和都市宣言のまち」としての取り組みについて
ウクライナやガザでの戦闘が収まりません。いまこそ非核平和都市宣言のまちとして、平和の重要性を訴える取り組みを行うべきです。

ウクライナやガザでの戦闘が収まりません。いまこそ非核平和都市宣言のまちとして、平和の重要性を訴える取り組みを行うべきです。